

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○7月8日～

先週も強い動きが続き、ドル/円の高値更新だけでなく、株価も日経平均、TOPIXも史上最高値更新となりました。

円安進行で円の価値がどんどん弱まっている中で資産価格が上がり続けるのは怖い気もします。日本円の現金を持っていることが最も効率の悪い投資という状態です。

米ドルやユーロ、もしくは日本株か外国株、あるいはゴールド(金)や仮想通貨など何に投資してもここ数年で大幅上昇となっています。

2年ほど前から国内物価が急激に上がってインフレ状態になってきていることもあり、預貯金のみで給料が上がらない状態の人は急激に経済状況が悪化しています。

この状況がどれだけ続くかわかりませんが流れが変わるまでは、トレンドについていくしかありません。

夏場は相場が荒れることが多いので、あまりに高値圏に入ってくると高所恐怖症になってきますがリスク管理をしながら少額ずつでもトレードしていきたいです。

今週は米国で消費者物価指数の発表があります。

米国のインフレ次第でマーケットは大きく揺れ動く状況なので注意したいです。

米国は、今年の9月か12月に利下げを開始するという予想ですが今の段階ではどうなるのかわからず、マーケットは利下げを期待して株高(リスクオン)相場となっています。

気をつけなければいけないのは、利下げはドル安要因にはなりやすいですが株高になるかどうかは微妙です。

また、米国の利下げのペースが遅い場合、日米金利差は簡単には縮まらないためドル安円高の動きも限定的になる可能性があります。

過去にも利下げ開始後に米国株が大きく下げ始める動きが出ており、そうなるとリスク回避的な動きがマーケット全体に広がるということです。

リスク回避的な動きが出ると利益確定で現金化を急ぐ動きが出やすく、上がっている金融商品が軒並み下がる動きとなり、〇〇ショックというような状態になるかもしれません。

ということで、今年の後半は大きく荒れる可能性もあり、予想をするよりも目の前のリスク管理に集中したいです。

また、7日にはフランスで下院選の決選投票があるのでユーロの動きにも注意したいです。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル/円>

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

ドル／円は先週も高値更新の動きとなりました。

トレンドは強い上昇トレンドが継続しているため下がってもすぐに買いが入る状態です。

先週は 162 円手前で一旦は天井をつけ、週末にかけて少し下がっています。

160. 2円あたりにあるサポートを維持できれば、162円超えを試す強い動きになりそうです。

160 円を割り込んでも 158 円あたりのサポートで下げ止まれば、高値圏を維持した動きが続きます。

今週も下がってきたところを押し目買いで狙う戦略を継続したいです。

売りは見送りがよさそうです。高値更新がいつまで続くかわからないためです。

<気になるクロス円>

クロス円も強い動きが続いています。

欧州では選挙がありました。予想通りということで、今のところ大きな混乱もなく、ユーロもポンドもドルに対しても強い動きとなっています。

クロス円はドルに対しても強い動きが出ている場合は、ドル／円が上昇トレンドなので買い安心感があります。

ドルに対して動きが不安定になってきた場合は注意がいらします。

カナダドル以外の先進国通貨は軒並みリーマンショック前の高値を超えてきました。

急落に注意しながら、押し目買いでついていきたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では 5 月貿易収支、5 月機械受注などがあります。

米国ではパウエル・FRB議長発言、6月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、6月月次財政収支、6月卸売物価指数、7月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツで6月消費者物価指数などがあります。

ほかにはニュージーランドで政策金利、英国で5月GDP、中国で6月貿易収支の発表などがあります。